



2024年度 ことり ぐみ クラスだより

教養教会幼稚園 園長 有岡史季

6月21日 発行 執筆者 吉野とむか

ペラシダの紫陽花が今年も王冠らしい花を咲かせています。暑い日が続いていますが、年中児の生活にも慣れ、園庭やホールで思いきり身体を動かして楽しんでいる子ども達です。当番活動も一生懸命に取り組む様子があります。子ども達の成長1つ1つがとても嬉しい毎日です。先週は保育参観に来てくださり、ありがとうございます。子ども達の園でのありのままの姿を見ていただく事ができました。次週からは個人懇談が始まります。一人一人の成長の姿や良い所をお伝え出来る事を楽しみにしています。

花の日礼拝

6月10日には花をきっかけに、小さな花もひとつひとつ美しく彩り、小さな私達にも同じように命を手えてくださった神様に感謝し豊かな守りの中で成長できる事を喜び、分かち合う花の日礼拝を守りました。持ち寄り花をみんなでアレンジメントし礼拝堂に飾り、美しい花を前に心からの祈りを捧げる事ができました。そして翌日には嬉しい気持ちをより多くの方と分かち合うために感謝の気持ちを表したカードを持って消防署に訪問しました。消防士・救急救命士の方が温かく迎えて下さり、いつもありがとうございます。お礼と感謝の気持ちを伝える事ができました。「喜んでくれて嬉しかった!」「楽しかった!」と喜びが増し加わる貴重な経験をすることができました。神様の恵みを分かち合う中で周りの方々の喜びが自身の喜びとなるよう、これから子ども達に丁寧に伝えていけたらと思います。お花のご準備ありがとうございます。

芋苗差し

絵本で「さつまいもから芽が生え、それを育て1本ずつ植えると蔓が伸び芋になる」とことを知り、興味津々の子ども達、大谷原の芋畑にひかり組さんと出掛け、芋苗差しに挑戦です! 農家の方が優しく丁寧に苗差しの方法を教えて下さいました。切り込みのついた棒を使って1本ずつ苗を土に差ししていきます。初めは「できるかな?」「先生と一緒にやろう!」と話していた子ども達も農家の方や教師と一緒にするうちに「いっこつとつかみ、みんなでかを合わせ ああという間に苗を植える事が」できました。秋の収穫に向け期待を膨らませていきます!!

遊びの中の 学びの芽

鬼ごっこや廃材制作、どろんこ遊び... ことり組の子どもたちには大得意で、お気に入りの遊びが沢山あります。その一つに『カワラ』という長方形ですべて同じサイズの造形積木があります。平面に並べ幼稚園やお家等の間隔りの空間に見立てて遊んだりと、積み木の様に重ねて遊んだりする様子があります。積んで遊んでいる姿から今回は遊びの芽を見て、行きたいと思います。最初はカワラを縦長い向きに立てて積んでいた子どもたちですが、バランスが保てず、すぐに崩れてしまいます。しばらくすると、カワラを横向きに3本ずつ川の字で格子状に積んでいくと崩れにくいと気付いた子どもたちと数名で協力し合いながら遊びを始めていました。またある日、教師が六角形で積む姿を見て、いつもとカワラが違うことに興味を持ち、数名が加わりました。形が少し複雑になったことで角に乗せるというイメージがつかない子どもと一緒に遊ぶ中で、友達の手元を間近でじっくり見てどのように乗せればよいか、分かり始めました。崩れては積み直すと、直す中で、少しずつ歪んだ形になると、歪みをハートの形に見立て「ハートになった!」と大喜び。「今度はハート形を作ろう」と遊び始める様子がありました。上記のエピソードの中から①では、始めは高さを出すために立てて積んでいたもの、バランスが安定するように積むことで、多く積むことができた。それに伴い、高さが増えることに気が付くことができた。ここでは数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚が、②では友達同士協力して目的を実現しようとする姿から協同性が養われていく事が分かります。そして③では更に友達の様子を見て学んでいく姿がありました。④では、①から更に発展した形への関心・感覚の育ちを感じました。じっくりと遊びを楽しむ中で色々な事に気づき、友達との関わりの中で更に多くのことを学び取る事ができるよう支えていきたいと思っています。

お知らせ

6月27日をもって安居 晴菜さんがご家庭の都合により退園されます。楽しい中でも健康が守られ元気に笑顔で過ごせますようお祈りしています。